【臨床研究名】

歯科領域における周術期患者の抗菌薬使用実態調査-経口スイッチ療法の評価-

【目的】

歯科治療をされる場合、注射用抗菌薬セファゾリンが投与されることがあります。その後、経口抗菌薬へ切り替えて投与する治療（以下、経口スイッチ療法）が行われる場合があります。そこで今回、経口スイッチ療法による影響について調査を行い、必要性について検討します。

【対象患者・期間】

２０１５年１月～６月の間に歯科治療を行い、注射用抗菌薬セファゾリンを使用した患者さん

【方法】

・入院期間

・再入院の有無

・年齢

・性別

・有害事象の有無

・有害事象に関連した追加薬の有無

・術式等

上記項目を調査します。

【個人情報の取扱い】

個人を特定できる情報の取扱いには、十分注意し、匿名化を行います。また、この研究結果を公表する(学会発表や学術雑誌への投稿)場合も、個人を特定できる情報は、含まれません。

【倫理審査】

医学部倫理委員会承認日：　平成27年　　7月22日

【利益相反】

この研究において開示すべき利益相反はありません。

【この研究に同意されない場合】

この研究に同意されない方は、下記までご連絡ください。

【連絡先】

新潟大学医歯学総合病院　薬剤部

担当：吉田　謙介

電話：０２５－２２７－２７８６